守山まるごと活性化 議事要旨

作成日:2016/10/31

作成者:飯田

会議名: 第3回ふるさとづくり委員会

日時: 平成28年10月25日(火)

場所: 速野会館大会議室

出席者: 高谷満廣、岡本善広、堀江清、大井豊、山本光男、山本富夫、馬場敏明、山田良彦、伊藤潔、今井寿一、西村實、猪飼正成、石神利明、今井孝雄、佐々木芳郎、長尾晃裕、下川博司、松田卓己、藤川裕子、田中敏隆、山岡龍二 (21名)

出席者(行政): 速野会館 赤井館長、飯田主事、西村指導員

使用資料:

議題

進捗状況報告、学区民のつどいPRイベント、看板設置、来年度予算

会議要旨

内容

1 進捗状況および検討について

A: 11/23漁船タクシー乗船、つどいサイクリングイベント(参加者6名)、
11/26サイクリングイベント開催(チラシ参照)

B: 看板設置、つどいフォトコンテスト表彰・展示、12/11歩こう会、マップ作成

C: つどいフォトコンテスト表彰・展示、つどいノルディック体験会(参加者新規5名)、
ノルディックインストラクタ養成2名(12月)、2/19四季桜植樹会

D: 大川環境整備活動、新川オープンスペース設置(県立大連携)、大川フォーラム、
大川デッキ PR、竹灯籠イベント(4月ごろ)(立命館大生連携)

E: 語り部会、まちづくり絵本作成、ビデオ「これからの速野」調査会実施

F: PR活動、ヒヤリハットマップは今月末回答期限で11/20調査会実施

※Cマップモリモリ山は「【海抜】99m」という表記に次回は訂正すべきとのこと。

2 学区民のつどいでのPRイベントについて

ステージおよびブースでの案内実施

《反省》 ・展示コーナーのパネルが小さかった。

⇒次回はパワーポイントで作成しプロジェクターでうつす等検討する。

3 速野まるごと博物館自然看板の設置について

・9か所で実施(ハマヒルガオは当初予定していたが、Bで議論した結果勝手に行うより次年度
以降守る会と何が必要か検討すべきとなったため、当初の10か所から9か所に変更)

・100万円の予算の範囲内だがおそらく50万前後となる。余った分は次年度に繰り越し。

《意見》 枠をつけるべき、インクを剥げにくいものにすべき、色の配色を検討すべき
→Bにて検討する。

⇒12月の自治連合会で承認を受けて執行していくため、本会議でふるさとづくり委員に承認を
得たい。賛成の方は挙手願いたい。→全員挙手のため承認受けた。

4 予算要求について

・ソフト:今年度と同額63万円要求。

※Fでふるさとづくり委員会の焼印をつくることをAより提案いただいた。

次年度正式に検討するが、今回は情報提供のみ。

・大規模ソフト:E絵本100万円(大規模ソフト)、

・ハード(150万円):まちづくり看板の見直し(B/F)、ホタル・ハマヒルガオ整備(B)

※来年度中に全額使うようにする。(最終年度は検討事項が多くなることが予測されるため)

※来年度よりBにて博物館構想の中には、ハマヒルガオやホタルも入れる必要があるとの
結論に至ったため、次年度以降は連携して実施する。

※Bが50万ほどしか執行しない見込みのためそのあまりを含めて来年度執行する。

⇒詳細は次年度以降決定するが予算要求が必要なため、今回承認を受けて要求したい。

賛成の方は挙手いただきたい→全員挙手のため承認受けた。

決定事項

看板の設置、予算要求

次回以降に
ついて

執行報告、今年度の反省と来年度の計画